

「新聞記者」主演の松坂桃李「日本は政治より芸能で…」

有料会員限定記事
聞き手 編集委員・石飛徳樹 2019年7月27日07時00分

シェア ツイート ブックマーク スクラップ メール 印刷
list 47



「新聞記者」について語る松坂桃李



「加計学園問題」など、現実の社会で起こっている出来事を想起させる日本製の政治スリラー映画「新聞記者」がヒットしている。今の政権への痛烈な批判を含んだ硬派な内容ながら、7月22日現在で観客は33万人を超え、興行収入は4億1千万円に達した。

23日、東京・新宿ピカデリーで「大ヒット御礼舞台あいさつ」が開かれ、主演のシム・ウンギョンと松坂桃李が登壇した。あいさつを終えた松坂に聞いた。

——舞台あいさつは若い女性を中心に満席でした。松坂さんとシムさんが登壇した時、「キヤー」という歓声が上がると思いましたが、大きな拍手が起こりました

「熱く、そして温かい空気が流れていましたね。皆さんに迎え入れてもらっているなと感じました。10年余り、この仕事をしていますが、今まで経験したことのない歓迎のされ方ですね」

——「大ヒット御礼」での登壇。出演者としては格別なんじゃないですか。

「ありがたいことですね。こういう映画に携わった身としては、お客さんに見てもらわないと意味がないので、今日、あいさつに立って『ああ、本当に多くの方に見ていただいたんだな』と改めて実感しています」

——これほどのヒットになるとは思っていましたか。

「公開規模も大きくないですし、正直なところ、ここまでとは思っていませんでした。いろんなところで取り上げてもらったり、クチコミで広がったりして、予想を超える出来事といえますか、感情がまだ追いついていないです」

——現実の政治を批判する内容を含んだ映画に出演するのは、勇気が要ることだったのではないですか。

「確かに政治を扱ってはいますが、台本を読んだ時、根底にあったのが、人生の選択を迫られた時に、どのように自分の目で見極めて進んでいくのか、という普遍的なテーマでした。それを感じたので、映画のメッセージも含めて受け止めることが出来るし、多くの人に届けたいと思い、『ぜひやりたい』と答えました」

——日本には政治的な話題を避ける国民性があると思います。そのあたりは考えましたか。

「この映画に参加することになって、きっと色々言われるだろうなというのは、もちろんありました。でも、役者というのは、物語の中に生きる人間の感情を伝えるのが仕事です。この映画で、僕は内閣情報調査室の杉原という人間の感情を素直に伝えたいと思いました。だから後悔はないですね」

——しかも、ふたを開けたら大ヒットですもんね。

「これは予想外というか、驚きましたね。さっきの舞台あいさつで、全国の映画館の支配人から熱い声をもらって、本当に勇気づけられました」

——松坂さんがおっしゃるように、「新聞記者」は政治スリラーですが、普遍的な人間ドラマが深く描かれています。特に松坂さんが演じた杉原の葛藤は半端ないものでしたね(笑)。

「すごい葛藤でした。自分の置かれた立場とか、将来のこととか、独りになるといえるんということが頭を駆けめぐらさざるを得ない、という人物でした」

——演じるのも大変だったんじゃないですか。

「ええ。杉原の悩みが重すぎて、ずっとピリついた緊張感のなかで演じていました。約2週間という短い撮影期間でしたが、なかなか楽しい気分にはなれませんでした(笑)」

「語り合う時間」を持って帰ってくれる

「吉本」を読み解く

「間営業」を発端に揺れる吉本興業。経緯、背景をまとめ読みで。



注目の有料ニュース デジタル限定

PR 注目情報

経営の神髄はITがお好き

テクノロジーで変革に挑戦！

明日へ、イチロー。

挑戦の歴史、そして明日への「歩み」

国立大学 進学のおすすめ 2019

小樽商科大、弘前大ほか

人材確保にお悩みのあなたに

優秀な「人材」はオフィスで集める

住吉美紀さんが実感

長時間でも疲れにくい風とは

映画『トイ・ストーリー4』公開記念

トップアスリート<友情>インタビュー

モエ アンペリアル誕生150年

アートと美食で迎えた祝福のとき

朝日新聞文化・芸能取材班

—撮影現場はどんな感じだったのですか。

「藤井道人監督や今村圭佑カメラマンを始め、製作チームがすごく良かったんです。若い世代が団結して作ったという感じでした。スケジュールはハードでしたが、彼らの熱量があったから走り切れました」

—藤井監督はオファーを受けた時、政治や時事問題に詳しくなかったと聞いています。松坂さんはどうでした？

「僕も正直、若いころは意識が薄いところがありました。でも、この仕事を始めて、いろんな情報がいやだなく入ってきました。年齢とともに少しずつ意識を持ててきたかなという思いがあります」

—米国や韓国では政治を批判する映画が数多く作られています。しかし、日本では「新聞記者」のような政治にコミットする映画がなかなか作られません。

「ネットで見たんですが、各国の国民が関心を持っている分野のトップ3を紹介していて、外国は政治や医療といった分野が多かったんですが、日本の1位は芸能ニュースでした。この違いはやっぱり大きいのかなと思いますね」

—だから「新聞記者」のような芸能ニュースにもなる社会派のエンターテインメントが重要になってくるのではないのでしょうか。

「映画のだいご味とは、見た人それぞれに色々な感じ方が出来ることだと思うんです。『良かった』とか、『悪かった』とか、一方的でなく語り合えることが、映画にとってはとても素敵なことだと思う。語り合う時間が大事ですよね。『新聞記者』は、見た方がそういった語り合う時間を持って帰ってくれている。それがとても大きい」

—「新聞記者」のヒットで、こうした政治や時事問題を扱ったエンターテインメントが増えるのではないかと期待しています。

「そうですね。こういう映画を作りたいと思う人が出てくるかもしれません。作り手たちが刺激されて『じゃあ我々はこっちの側から描いてみよう』といったことが起こるかもしれない」

—それにしても最近、挑戦的な作品が続いていますね。「彼女がその名を知らない鳥たち」では女性にだらしないデパートの社員、「娼年」では女性に体を売って生きる若者、そして「孤狼の血」の、裏社会に引きずりこまれていくエリート刑事……。

「昨年30歳になりました。数年前から、事務所の人たちと話し合って、『人々の記憶に残る作品に出よう』と少しずつ始めているところです。もちろん、まだまだこれからですけど。そこを目指しつつ、バランス良くやっていこうと思っています」(聞き手 編集委員・石飛徳樹)

関連ニュース

- 政権批判「干される」 2社参加断った映画「新聞記者」
映画「タクシードライバー」は父と公表 深酒の理由に泣いた
瀬奈じゅんさん、特別養子縁組で生後5日の子のママに
絶不調、どん底に落ちた渡辺三冠 苦渋に満ちたV字回復
国民的バンドを解散、僕は芸能界から消えた 知った裏話
(シネマ三面鏡)「新聞記者」、記憶に残る作品に

こんな特集も

誰もが魅了される9頭身のヘルシーボディ、朝比奈 彩 (アエラストイルマガジン)

PR情報

トップニュース

朝日新聞デジタルのトップページへ

- 議員バッジ、ヤフオク出品禁止に 誰が買う？強気の値も (06:32)
かんぼ、書類偽造し契約も 「親しい客なら許されると」 (05:00)
学校AED、校内片道1分・対外試合に携行 学会が指針 (05:09)
「飽き性で練習嫌い」だった瀬戸 妻への誓いと有言実行 (21:18)
和食料理人の西健一郎さん死去 京野菜に光当てる (03:00)
「知事公舎、入りませぬ」全国6県 巨大屋敷が空き家に (17:00)
38歳の母、子は9人 出生率トップの沖縄、その影に



声優のルシーさん死去

@asahi_bunkaさんのツイート

朝日新聞文化・芸能取材班さんがリツイートしました
YAMAGUCHI,Susumu 山口進
「一昨年のアマ名人の大関さんは、昨年挑戦者の粟田さんに敗れて失冠したが、今年の全国大会を制してリターンマッチを実現。最短で名人復位を遂げた」→大関裕さんが2年ぶり名人返り咲き 朝日アマ囲碁名人戦：朝日新聞デジタル asahi.com/articles/ASM7X...

大関裕さんが2年ぶり名人...
静岡県熱海市の旅館「あ...

5時間

朝日新聞文化・芸能取材班さんがリツイートしました
大西若人
本日朝刊掲載の拙稿です。この2展が近くで同時に開かれているのは、巡りあわせの妙というか、ある種の必然というか。

埋め込む Twitterで表示

朝日新聞将棋取材班

@asahi_shogiさんのツイート

朝日新聞将棋取材班
(将棋名人戦ニュース) 菅...
第78期将棋名人戦・順...

(将棋名人戦ニュース) 菅...
第78期将棋名人戦・順...

20時間

朝日新聞将棋取材班
今日の朝刊の観戦記です。棋士会副会長になった糸谷八段。仕事が増えたようですが...
→「『竜王時代の方が忙しかった』とは本人の言葉。忙しく動き回る生活が性に合っているのだろう」
微妙な形勢 第78期将棋名人戦A級順位戦2回戦 第6局第4譜：朝日新聞デジタル

埋め込む Twitterで表示

※Twitterのサービスが混み合っている時など、ツイートが表示されない場合もあります。

アクセスランキング

もっと見る

読まれています 昨日のトップ5

松本人志さん、社長会見「0点」 加藤さん発言にも言及 [インサイド吉本問題]

「赤道突破おめでとう」かんぼ、問題発覚後にパーティー [かんぼ不正]

「感情」に訴える韓国輸出規制、その狙い 津田大介さん

「新聞記者」主演の松坂桃李「日本は政治より芸能で...」

1人に54契約 「ゆるキャラ」高齢者に群がる郵便局員 [かんぼ不正]

ソーシャルランキング

もっと見る

フェイスブック はてなブックマーク

- カナダにもALS患者の議員 3797 |
汚染水、制御しきれず 3623 |
「新聞記者」主演の松坂桃李 1720 |

Facebook Twitter 記者ページ